

指定校番号	29036	学級活動		生徒会活動		学校行事	○	中学校用
-------	-------	------	--	-------	--	------	---	------

## 平成 29 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立廿日市中学校	校長	枝廣 泰知	生徒指導主事	濱田 真司
-----	-------------	----	-------	--------	-------

<b>取組事例名</b>	『文化祭における合唱の取組』
<b>取組のねらい</b> 『キーワード 感動』	<p>○合唱を創りあげの中で、クラス・学年・全校の和をはかる。</p> <p>○ハーモニーが響きあう喜びを感じ、合唱を創りあげることを通して、歌声の響く廿日市中学校の文化をさらに推進する。</p> <p>○目指す生徒像である「感動」を創造する力をもつ生徒を育成する。</p>
<b>身に付させたい資質・能力</b>	<p>○責任感</p> <p>○自己有用感</p> <p>○協調性・コミュニケーション能力</p>
<b>取組の具体的内容</b> 『キーワード 主体的な活動』	<p>○練習時間や場所の割り当てを事前に各学級へ周知し、その予定に合わせて各学級のリーダーを中心に練習計画を立てる。</p> <p>○日々の練習の目標や評価、振り返りを生徒に行わせ、よりよい活動や合唱で人を感動させることの意味や価値を生徒に考えさせる。</p> <p>○コンクール終了後、各学級のリーダーが、合唱に取り組んだことでの成長や仲間への感謝等を学級の生徒に伝える活動を行う。</p> <p>○教員は全体の動きを把握しながら、必要に応じて支援や指導を行う。</p>
	
<b>取組の課題・創意工夫</b> 『キーワード ルールの遵守』	<p>○各学年の課題に応じて目標を連鎖させ、一過性の取組とにならないように留意する。</p> <p>○決められた時間や割り当てられた場所での練習というルールを遵守する。生徒が結果にこだわるあまり、練習による過重負担や時間外での練習については教員が制止していく。決められた範囲の中でどう自分たちの合唱をよりよいものにするかという視点をもたせることについて留意する。</p>
<b>取組の成果（効果）</b> 『キーワード 自己有用感』	<p>○学級での取組を進める中で、生徒がそれぞれの立場にける役割や、やるべきことを生徒同士のかかわりを中心に考え、行動に移すことができるようになった。特に、リーダーをした生徒については、自分を客観的に振り返るよい機会となった。</p>

○コンクールの結果に関わらず、自分たちの取組を振り返ることでどの生徒も自分の合唱への取組について成果と課題を整理することができた。

○学校評価アンケート（学校、学級への所属感について）

・クラスの中に自分の居場所がある

7月	肯定的評価	93%	否定的評価	7%
11月	肯定的評価	96%	否定的評価	4%

・自分の所属するクラスに満足している

7月	肯定的評価	85%	否定的評価	15%
11月	肯定的評価	89%	否定的評価	11%

### 今後の展開『キーワード つなぐ』

○合唱への取組を通して整理した成果や課題を学校生活や次の活動へつなげていき、節目ごとの評価と振り返りを行う。

○学年があがるごとに生徒の主体的な活動の割合を増やしていくことで自主・自律の精神を学校の文化として定着させる。

○アンケート結果の否定的評価に留意し、自己有用感の醸成につなげる。

### 他校へのアドバイス『キーワード ベクトルを合わせる』

生徒の動きが想定していたものと違った場合、次の3点についてチェックしていく必要がある。

○生徒に取組の目標や具体的な動きや方法が明確に伝わっているかどうか

○リーダーの役割を担っている生徒に取組の実態を把握させ、成果や課題を整理させているかどうか

○全教職員が、取組の具体を明確に把握し、動きを揃えることができているかどうか